

洗足学園中学校・高等学校

市進学院主催 学校訪問会レポート
2018年 5月 15日 (火)

2018年5月15日、初夏の良く晴れ渡った天候の中、洗足学園中学高等学校の学校訪問会が行われました。

開始時間が朝の9:30からということもあり、ちょうど併設の大学に通う生徒たちが通学しているところに行われました。

会場は入口から入って奥の小講堂です。



会の前には洗足学園紹介ビデオの上映がありました。この紹介ビデオを含め、パンフレット類の人物や撮影場所はすべて洗足学園自前のものとのこと。校長の宮阪元子先生より、変わらぬ建学の精神と「女性の自立に向けた挑戦」をし続ける精神、そして入試広報委員長の玉木先生から具体的な取り組みについての話は、これからの社会を生き抜く女性になるために必要な要素であると感じました。今年度の受験状況と、来年度の募集要項の概要について、来年度も特に大きな変化はありませんが、「最後まであきらめないでほしい」という言葉に保護者のみなさまはうなづかれていました。

説明会のあとは校内見学。2つの小グループに分かれて先生方にご案内いただきました。

オールイングリッシュの授業やディベートの授業では生徒も先生も真剣勝負です。また開放的な図書室やPCルーム、エントランスに学食、グラウンドやホールなど、大変立派な施設で見入ってしまいました。

防犯・安全も重視されている学校で、カードリーダーにて登下校の時間を保護者にメールが通知されるサービスを行っていたり、通学時での不測の事態に備えて、洗足生専用の「災害伝言板」を設置したりしています。女の子のお子様がいらっしゃるご家庭にはとても安心です。



先生方がお話しになった洗足学園としての特色を、保護者のみなさまは聞き入っていました。「結果重視」の教育から「経過重視」の教育へ舵を取るICTなどを利用した具体的な取り組みは、2020年の大学入試改革の、そのさらに先を目指しているように感じました。「幅広い大学に進学していることが自慢です」との話も、洗足学園らしさが表れた一面でした。